

令和6年第1回定例会

一般質問内容一覧

(1日目)

日時 令和6年3月5日(火曜日) 午前9時30分～

場所 新宮町役場 3階 議事堂

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	大牟田 直人 議員	1) 更年期障害への支援や周囲の理解を	<p>更年期障害は男女を問わず、誰にでも訪れる可能性のある病気であり、女性は閉経年齢前後の約10年間、男性は40歳以降どの年代でも起きる可能性があると言われている。</p> <p>NHKによる2021年の調査によると、更年期症状が原因で仕事を辞めざるを得なくなる「更年期離職」による経済損失は6,300億円に上ると推計されている。当事者だけでなく、更年期障害に関する周囲の理解が大切だと感じる。</p> <p>また、2022年に行われた厚生労働省の調査では、更年期症状を自覚しているにも関わらず医療機関を受診していないと回答した人の割合が男女とも8割以上となっており、更年期障害の症状や治療法に関する相談体制や、正しい理解が必要だと感じる。</p> <p>町にも更年期世代の住民が多く暮らしており、更年期世代の当人だけでなく、家族や職場など周囲の理解を進めることが、更年期症状に悩む人たちや周囲の人たちが暮らしやすい町につながると感じる。</p> <p>そこで次の3点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本町の更年期障害の現状と相談体制は。 2 更年期障害の症状や対処法を町民や事業所に啓発できないか。 3 更年期世代の子世代になる中学生に対して更年期について理解を深める教育を実施できないか。 	町長 教育長
2番	温水 眞 議員	1) 新宮町立新宮幼稚園の将来像と活性化に向けた取組を	<p>令和5年12月定例会で、新宮町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定を受け、その後、町立幼稚園への通園に伴うコミュニティバスの利用者支援策の説明を受けた。令和6年度の年少組の在籍予定者数は、立花幼稚園5名、新宮幼稚園17名という報告を受けた。</p> <p>同定例会時に預かり保育や通園バスの導入、より特色のある幼児教育導入を提案したが、町の見解として、就労支援は保育所、幼稚園は教育の場としての位置づけであり、今後は方針の見直しも含めて検討課題があるとのことだった。</p> <p>また、A L T配置は英語教育を充実するための一つの方策だが、給食の支給や通園バス運行は高額の予算を伴うため実施することが難しい。近年は就学前の児童数が減少していることを前提に、町立幼稚園の今後の在り方について検討していくことと理解した。</p> <p>新宮町立新宮幼稚園の持続可能性を確保するためには、定員大幅未達と就園率低下という課題を解決し、魅力ある教育カリキュラムを提供することが重要であると考えている。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新宮町立新宮幼稚園は定員大幅未達が続いているが原因は。 2 就園率を上げるための具体的な施策は。 3 幼稚園統合により減少した経費を使った、給食の支給や通園バスの運行の可能性は。 4 他の幼児施設にはないような特色ある教育カリキュラムが必要と思うが、どのように考えているのか。 	教育長
3番	片岡 誠治 議員	1) 防災訓練の実施を	<p>能登半島地震をはじめ各地で発生している災害をふまえ、防火防災意識の向上は喫緊の課題です。町全体が参加する防災訓練の実施とハザードマップに基づく各行政区単位での訓練は、町民の安全確保に不可欠です。</p> <p>そこで次の3点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2019年にふれあいの丘公園で行われた防災訓練以降、同規模の訓練の実施予定はあるか。 2 町民の防災意識を高めるための具体的な対策は。 3 町内の自主防災組織の現状(数)と、未設置地域に対する対策は。 	町長
		2) 消防団員減少の対策は	<p>近年、全国的に消防団員数が減少し、地域防災力の低下が懸念されます。本町においても同様の状況であり、消防団員減少は深刻な課題であると考えている。</p> <p>そこで次の2点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 消防団員確保に向けた具体的な取組、また対策はあるのか伺う。 2 消防団員の処遇改善について、どのような考えを持っているか伺う。 	
4番	庵原 伸一 議員	1) 伝説と自然豊かなロマンに満ちた島のPRを	<p>玄界灘に浮かぶ相島は諸外国からも観光客が訪れている。相島にはまだ知られざる魅力があり、豊かな自然と歴史を多くの人たちに知ってもらうことで「伝説と自然豊かなロマンに満ちた島」として、さらに認知度を高めていくことが重要ではないかと考える。</p> <p>そこで、相島の遙かな歴史に触れる機会として、若宮神社の神木「ユズカズラ」にまつわる伝説を活用してはどうかと思う。</p> <p>「筑前国続風土記附録」によれば、若宮神社には、豊玉姫と玉依姫が産神として崇められており、神木のユズカズラもある。また、「筑前国続風土記拾遺」によれば、この神社では、上記の二神の他に、葺不合尊(ふきあえずのみこと)も祭られているとある。葺不合尊は、後に玉依姫と結婚し、神武天皇の両親となったと言われている。</p> <p>伝説と自然豊かなロマンに満ちた魅力をPRするために、次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 若宮神社やユズカズラに関する伝記などを観光客に伝える取組は。 2 ユズカズラは島の人々に「産の柴」として知られており、安産に縁起が良いと言われている。相島観光交流拠点施設において、ユズカズラに関する物品の販売を検討する考えはないか伺う。 3 相島の魅力をより広く伝えるための取組について、どのような考えか伺う。 	町長

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。ぜひ一度ご覧ください。

※お手元のパソコン及びスマートフォンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。ぜひご覧ください。

※傍聴の受付は、役場1階総合案内で、当日午前9時から行います。詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737(直通)までお問い合わせください。